

令和8年度賀露小学校の鳥取市 Smile 月間の取組について

「笑顔あふれる学校」になるために、執行部が主催し、次の活動を実施した。

○アロハチャレンジ集会（令和8年6月12日）

全校が色別に分かれ、「学校○×ゲーム」を行った。学年関係なく、相談し合いながら手をつなぎ、答えの方向に動いている姿が見られた。答えの正解・不正解にかかわらず、笑顔で喜んだり励まし合ったりする姿が見られた。



「鳥取市 Smile 月間」における取組

鳥取市立湖山小学校

1. 委員会の取組について

運営委員会が Smile 月間に合わせて、あいさつ運動の強化を行った。①学級ごとに担当の日を決め、全学年の有志があいさつ運動に参加するように促すことで、より自分事として、あいさつの活性化をそれぞれの子どもたちが意識できるようになった。

あいチャレ（あいさつチャレンジ）を企画した。各学級の実態に合わせたあいさつに関する目標を立てシールを貯めた。目標個数を設定することで、全校遊びができることを楽しみにしながら、より良い挨拶を意識して生活することができた。目標個数を達成したため、夏休み明けに全校遊びを企画する予定。



2. 人権参観日実施

6月17日に、人権参観日（スマイル参観日）を実施。学級の実態に合わせて道徳や学活などの授業公開を行い、児童の様子や内面、人とのかかわり方などについて家族と一緒に考える機会となるようにした。



3. 良いことみつけ

帰りの会などを活用して、友達の良さに触れる機会を設けている。

4. にこにこアンケート

月末に学校生活のことについて振り返るアンケートを行い、児童の実態把握を行っている。必要に応じて聞き取りや指導、情報共有をすることで、全ての児童が安心して学校生活を送ることができるように取り組んでいる。

令和8年度 鳥取市 Smile 月間の取組について

鳥取市立末恒小学校

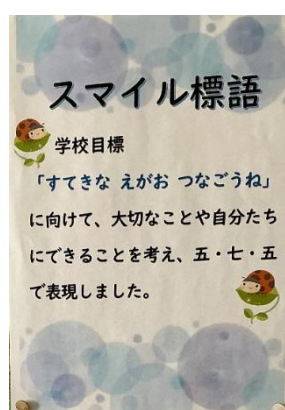
① 「あったか言葉」と「ちくちく言葉」(各学級で実施)

- 「あったか言葉」や「ちくちく言葉」にはどんな言葉があるのか、普段使っている言葉から探したり考えたりすることを通して、言われた時の相手の気持ちや今後の言葉遣いについて考える機会とする。
- 「あったか言葉」を書いた付箋をハートの中に貼り、廊下に掲示して内容を共有し、生活の中で広げていくよう啓発した。



2 スマイル標語(人権標語)の作成

- 「すてきな えがお つなごう ね」の
めあてに向けて、大切なことや自分
にできることを考え、五・七・五の
標語で表現した。人権教育参観日に
掲示して保護者に見てもらうととも
に、公民館主催の「人権標語コンク
ール」に応募した。



3 さわやか参観日(人権教育参観日)の学習公開

○各学級、学年が、道徳や学級活動で、人権教育に視点を当てた学習を公開した。



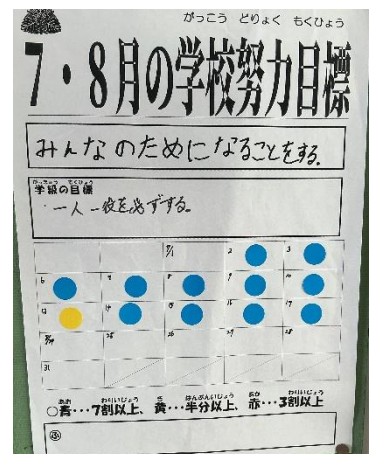
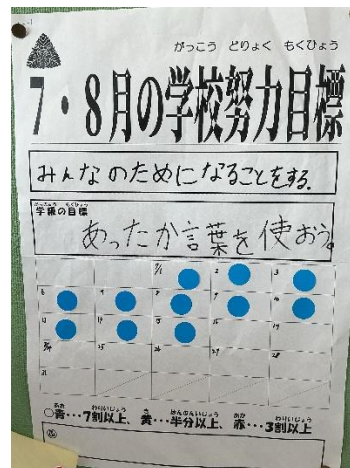
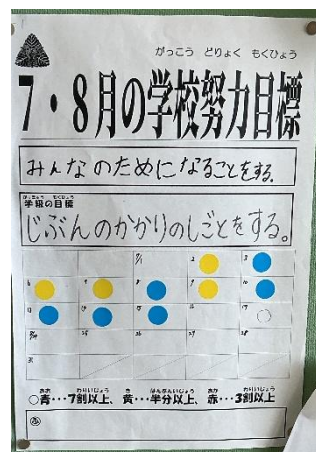
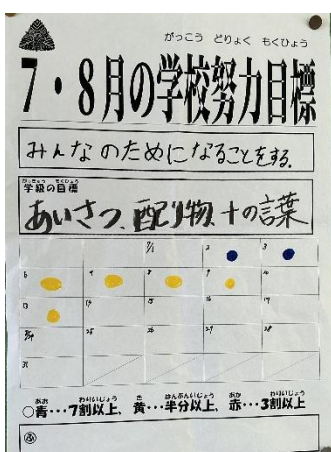
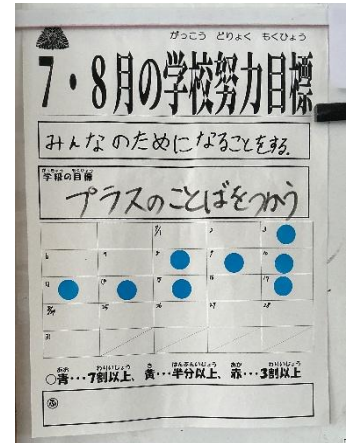
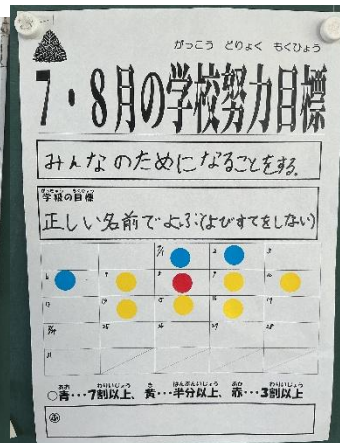
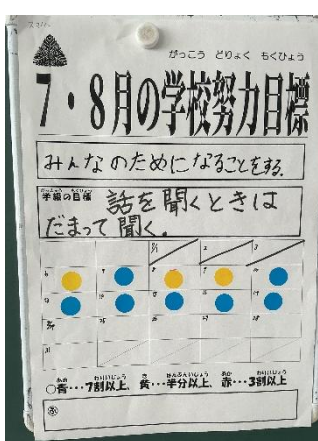
6年道徳「ロレンゾの友達」



1年学級活動「だいじなからだ」

4 学校生活目標の取組

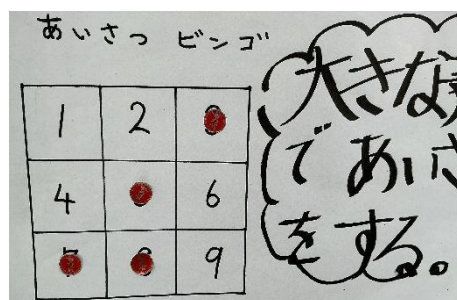
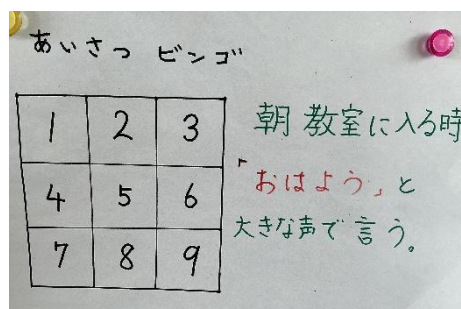
○生活委員会が中心となって呼びかけ、「みんなのためにできること」を各学級で話し合って決め、7・8月に実施する。毎日振り返りを行い、目標の達成度によって青、黄、赤のシールを貼る。



トの取組（6年生が中心となって

あいさつ運動、集会）

○6年生が中心となってあいさつ運動を行うとともに、各学級でめあてを決めて取り組むよう全校へ呼びかけた。



○「すてきな笑顔をふやそう集会」を実施し、各学級で取り組んでいることを紹介し合った。



6 その他「スマイル宣言」

○市から配布されたチラシをもとに、児童それぞれが、「いじめをなくすためにできること」を考えて書き掲示した。





国語「スイミー」

（め）お話のすきなばめんをつたえ合い、感じたことをこうりゅうしよう。

すきなばめんを自分なりの表現（音読・暗唱・スイミーへの手紙・スイミーになりきっての自己紹介など）で発表する。それに対して、自分のがんばりを振り返ったり、友達や保護者からがんばりを認めてもらったりする。

名前	「スイミー」のお話の すきなばめんを つたえよう
《はっぴょうのめあて》 とくにがんばることを、 一つ書きましょう。	
《ふりかえり》 はっぴょうでがんばったことや、 ともだちにほめられてうれし かったことを書きましょう。	おとなからのメッセージ

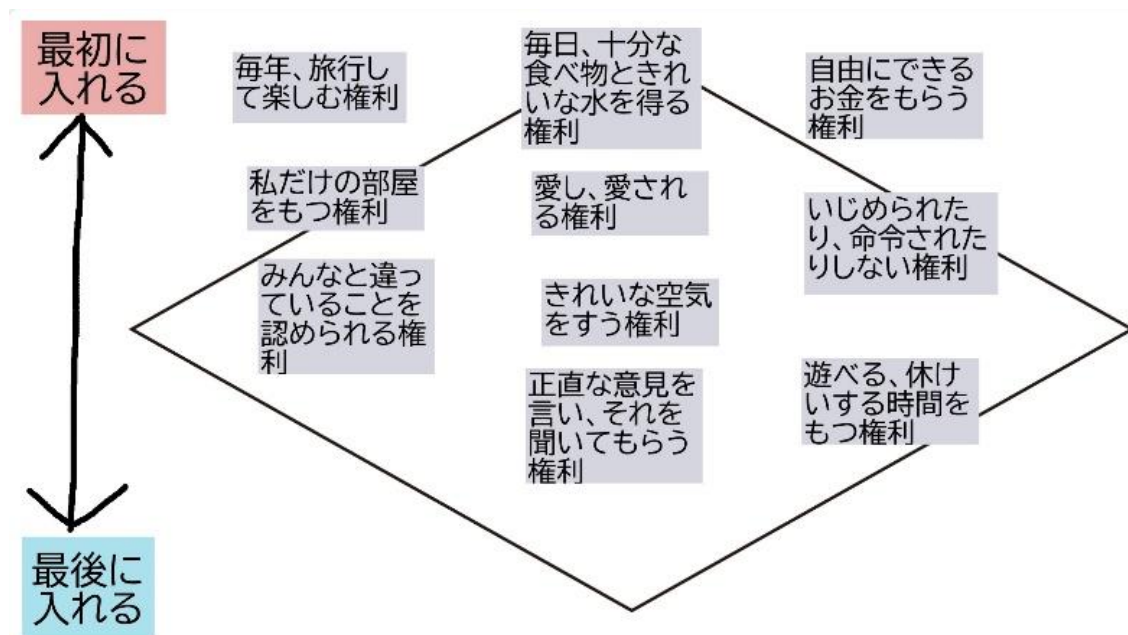
人権参観日【3年】



図画工作科『ぬのでえがくと』で作った作品を友達に紹介し、すてきカードを書いて渡すという活動を行った。友達の話のうなずきながら聞いたり、友達の作品のすてきなところを一生懸命見つけて時間いっぱい書く様子が見られた。

人権参観日【5年】

「権利のかばん」の学習を通して、「『権利の大切さ』や『人それぞれがもつ価値観』に気付いてほしい」と思い、この学習を行った。話し合いを通して相違点に気が付き、班の仲間と折り合いを付けながら話し合っている姿が見られた。正解のない中で、一生懸命考えることはとても難しかったと思うが、よく頑張っていた。



人権参観日【6年】



「理学療法士の方から学ぼう」の総合的な学習の時間で、理学療法士という仕事について理解を深めたり、正しい姿勢ができているかどうか友達同士でチェックしたりした。仕事をする上で「いろいろな人とコミュニケーションをとることが大切」というお話も聞くことができた。

人権参観日【特別支援学級】

特別支援学級では、参観日に「みんなで力をあわせてよもぎだんごを作ろう！」と題して、調理活動を行った。団子に使ったよもぎは、子ども達みんなで校内に自生していたものを摘み、きれいに洗ってゆでたもの。校内の自然に目を向けたり、友達と一緒に活動する楽しさを感じたりしながらの作業であった。参観日では「協力する」「譲り合う」「優しい声掛けをする」など、相手のことを考えて行動することをめあてとして、そのよもぎを使った団子づくりに取り組んだ。保護者や友達と一緒に生地を丸めたり茹でたりする作業をする中で「〇〇しようか?」「お先にどうぞ」「ありがとう」などのやり取りがたくさん聞かれ、どの子にとっても心地よい時間となり、楽しい活動にすることができた。



令和8年度 鳥取市 Smile 月間(いじめ防止強調月間)の取組

鳥取市立湖東中学校

I 「湖東中学校 Smile(スマイル)月間」について

＜今年度のテーマ＞

Pink & Peace(通称:PP)

＜このテーマに込めた思い＞

本年度のテーマ「Pink & Peace」は、いじめ防止を呼びかける世界的な運動“Pink Shirt Day”(ピンクシャツデー)に由来しています。「いじめを許さない」「相手を思いやる」「多様性を認め合う」「傍観者にならず行動する」ことを大切に、一人ひとりが自分にできることを考え、行動に移すきっかけにしたいという思いを込めました。

Smile 月間では、湖東中学校の取組を「スマイルプロジェクト」とし、誰もが安心して過ごせる学校づくりを目指して、さまざまな活動を行いました。あいさつや褒め合い、環境づくりなど、日常の中で無理なく取り組める活動を通して、互いのよさや思いやりに気づき、温かい関わりを広げていくことを大切にしました。

2 実施までの流れ

5月15日(金) スマイルプロジェクト実行委員の募集開始

5月22日(金) スマイルプロジェクト実行委員を結成し、企画・準備を開始

6月12日(金) 実行委員がスマイルプロジェクトの取組内容を全校に紹介。あわせて、ピンクTシャツカレンダーづくりを実施

3 主な取組

①スマイルプロジェクト全校集会(総合:人権学習)【6月12日(金) 1時間実施】

・スマイル実行委員を中心に、スマイル10箇条の再確認、今後の活動内容の紹介と説明を実施しました。



① ピンクＴシャツカレンダー

全校生徒が一人１枚、ピンクＴシャツ型のカードに「その日に自分が意識したい行動や言葉」を書き、カレンダーのように掲示しました。「ありがとうを自分から言う」「一人である人に声をかける」など、ピンクシャツデーの「いじめに反対する思いを行動に移す」という考えを、毎日の学校生活につなげることをめざしました。一人ひとりの思いが教室に掲示されることで、互いの目標や思いを知り、学級全体でスマイルプロジェクトに取り組む雰囲気をつくることができました。



② 10秒褒めタイム(終学活)

終学活の短い時間を使い、隣の人の、その日に見つけたよかった姿や行動を10秒間で伝え合いました。普段は気づいていても言葉にできていない相手のよさを伝えることで、「見つける」「伝える」「認め合う」ことを日常の中に増やす取組としました。短い時間だからこそ無理なく取り組むことができ、相手のよさを意識して見ることや、それを言葉にして伝える機会を日常の中につくることができました。



③ 「ピースください」(朝のあいさつ運動)

昨年度は、「スマイルください」と声をかけて登校時に笑顔を集めるあいさつ運動を行いました。しかし、笑顔を見せることに恥ずかしさや抵抗を感じる生徒もいたため、今年度は、より気軽に応じられる「ピースください」に変更しました。ピースサインは抵抗感が少なく、やりとりをきっかけに自然と表情もやわらぎます。朝のあいさつにちょっとした楽しさを加え、笑顔で一日をスタートできる雰囲気づくりをめざしました。実際に、多くの生徒がピースサインや笑顔で応じる姿が見られ、取組を重ねる中で、さわやかな笑顔であいさつを交わす姿も増えていきました。



④ スマイルフォト

学校生活の中にある「スマイル」を写真に収め、全校で共有しました。友達と笑顔で楽しそうに過ごしている姿はもちろん、仲間を支えたり助けたりしている場面、誰かが誰かのために行動した結果としてきれいに整えられている教室や廊下、気持ちよく使えるよう準備された場所なども写真に収めました。人の姿が写っていないくても、学校の中には誰かの優しさや思いやりがあふれています。それらに気づくことで、周りへの感謝や「自分も誰かのために何かしたい」という気持ちにつなげることをめざしました。写真として切り取って共有することで、普段は見過ぎてしまいがちな学校生活の中の優しさや思いやりを、改めて見つける機会となりました。



⑤ スマイルガーデン

生徒が毎日、登下校時に目にする花壇を、スマイルプロジェクト実行委員を中心に整備し、花を植えて育てました。活動にあたっては全校にボランティアを募り、実行委員だけでなく、多くの生徒が参加しました。毎日通る場所を自分たちの手できれいにし、花を増やすことで、登校したときや下校するときに少し気持ちが明るくなるような環境づくりをめざしました。また、身の回りの環境を大切に、誰かのために学校をよりよくしていこうとする気持ちにつなげることも大切にしました。実行委員の呼びかけをきっかけに活動の輪が広がり、多くの生徒と一緒に学校環境づくりに関わることができたことも、大きな成果の一つとなりました。



⑥ 教職員のピンクTシャツ着用・「ピンクを探せ」

スマイルプロジェクトの期間中、教職員で「Pink & peace」のオリジナルTシャツを作成し、校内で着用しました。教職員も取組に参加していることを目に見える形で示し、生徒と一緒に学校全体でテーマを共有することをねらいました。月間の最後には、校長先生から全校生徒へ「ピンクを探せ」というミッションが出されました。生徒は先生方の服装や身につけているものの中から



らピンクを探して記録し、達成者にはピンクリボンを贈呈しました。先生と生徒が自然に声をかけ合うきっかけをつくり、最後まで楽しみながら「Pink & peace」を学校全体で共有する取組となりました。

4 取組を通して

今年度は、あいさつする、相手のよさを伝える、笑顔や優しさに気づく、環境を整えるなど、日常のさまざまな場面に「Smile」のきっかけをつくりました。Smile は特別な場面にだけあるものではなく、学校生活の中にすでにたくさんあります。それに気づき、感謝し、自分の行動でさらに増やしていくことを大切にしてきました。

また、実行委員が考えた取組に多くの生徒や教職員が参加し、活動が学校全体へと広がっていったことも大きな成果でした。朝のあいさつでは笑顔で応じる生徒の姿が多く見られ、スマイルガーデンでは実行委員以外の多くの生徒がボランティアとして参加するなど、「自分もやってみよう」と行動する姿がさまざまな場面で見られました。

スマイルプロジェクトの最後には、実行委員から「もっと継続してやりたい」「またやりたい」という声も聞かれました。自分たちで考え、準備した取組に多くの人が参加し、学校の中に笑顔や会話、温かい関わりが広がっていく様子を実際に感じられたことは、実行委員にとって大きな達成感につながったと感じています。

今回のスマイルプロジェクトを通して、学校をよりよくすることは、一部の人だけが行うものではなく、一人ひとりの小さな気づきや行動から始められることを、活動を通して共有することができました。これからも、生徒と教職員、保護者、地域の方、みんなの力で、一人ひとりが「かけがえのない存在」として大切にされる学校づくりを進めていきたいと思います。